

第28回

緑区

社会福祉大会

みんなで進めよう！

みどりのわ

・ささえ愛プラン

(緑区地域福祉保健計画・地域福祉活動計画)

「一人ひとりが主役

・共に支えあうまちづくり」

平成22年2月24日(水) 緑公会堂 午後2時～4時



【第2部 プログラム】



1 第1期から第2期計画へ

～みどりのわ・ささえ愛プランの推進にむけて～



2 講演会「住民が創り出す地域の未来」

講師：加山 弾 先生 (東洋大学 社会学部社会福祉学科 准教授)

兵庫県明石市の事例を交えながら「絵に描いた餅にならないしくみづくり」や、「地域の井戸端会議と人材活用策」など、地域福祉保健計画づくりについて、わかりやすく説明していただきます。

講師紹介

加山 弾 (かやま・だん)

東洋大学 社会学部社会福祉学科 准教授

東京都、中野区、練馬区の審議会等の委員のほか、社会福祉協議会の評議員等に着任。

●専門分野●

地域福祉論、コミュニティワーク論、ソーシャル・インクルージョン、社会福祉学修士、社会福祉士

●主な教歴●

2002年9月～03年9月 大阪人間科学大学・非常勤助手

2004年4月～06年3月 関西学院大学社会学部・実習助手

2006年4月～ 東洋大学社会学部に着任

2007年4月～ 明治大学文学部・非常勤講師

●主 著●

・加山弾監修, 栃木県社会福祉協議会・とちぎ社協コミュニティワーク研究会編, 2009

『社協コミュニティワーカーさぽーと・ぶっく 黒子読本』

・小澤潤・秋元美世編, 2008, 『社会の理解』(共著), メヂカルフレンド社

・内閣府政策統括官編, 2008, 『ユースアドバイザー養成プログラム～関係機関の連携による個別的・継続的な若者支援体制の確立に向けて～』(共著)

・井村圭壯・豊田正利編, 2008, 『地域福祉の原理と方法』(共著), 学文社. ほか

「住民が創り出す地域の未来～第2期計画策定に向けて～」講演会報告

平成22年2月24日（水）、第28回 緑区社会福祉大会第2部プログラムとして、講演会「住民が創り出す地域の未来 ～みどりのわ・ささえ愛プランの第2期計画策定に向けて～」が開催されました。



当日は春めいた暖かさも感じられる穏やかな陽気で、第1部・第2部を通じて、およそ470名の区民の方々にご参加いただきました。

講演会では、はじめに「第1期から第2期計画へ～みどりのわ・ささえ愛プランの推進にむけて～」のテーマで、推進に向けた緑区の取り組みについて、緑区役所から説明を行いました。

続いて「住民が創り出す地域の未来～みどりのわ・ささえ愛プランの第2期計画策定に向けて～」のテーマで、地域福祉計画づくりについて、東洋大学社会福祉学科准教授の加山弾先生にご講演いただきました。

講演では「少子高齢化」や「経済不況・雇用の不安定化」などの話題を交えながら、「地域」が変化していることにふれ、地域福祉計画づくりにおいては

「問題発生の場合」であり「問題解決の場合」でもある「地域」を中心とした

- (1) 問題の把握と対策
- (2) 資源把握→組織化の方向づけ
- (3) 住民の福祉意識醸成とコミュニティづくり が必要であること、

また、第1期計画から第2期計画へ移行するにあたり、

- (1) 「第1期計画」を「誰がどのようにして」評価するのか
 - (2) 第2期計画との連続性と差異性（上乘せ・レベルアップ）をどのように図っていくのか
- を考える必要があるとの話がありました。

その後、加山先生が携わられた兵庫県明石市での地域福祉計画づくりの映像を交えながら、「地域の課題は私たちの身のまわりにあります。地域住民が自らの課題として主体的に取り組んでこそ、解決に近づけることができます。」との解説がありました。

(平成22年2月24日 緑区社会福祉協議会)